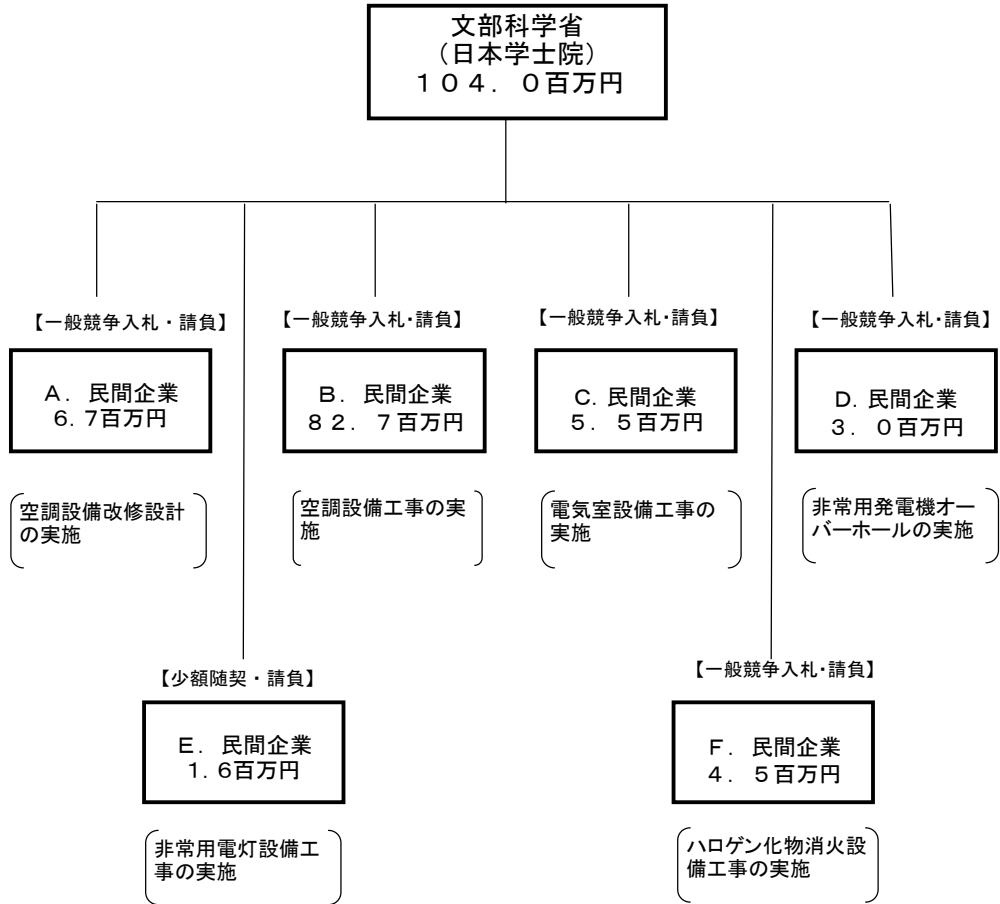


平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

<b>事業名</b>	日本学士院会館施設整備	<b>担当部局庁</b>	研究振興局	<b>作成責任者</b>					
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成25年度開始・平成25年度終了	<b>担当課室</b>	振興企画課	振興企画課長 菱山 豊					
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	-						
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	日本学士院法	<b>関係する計画、通知等</b>	-						
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	日本学士院会館は、竣工後約40年が経過しており、各所の老朽化が著しく、改修が必要となっている。特に空調設備、電気室設備、防災設備の劣化状況は深刻であり、事業の運営にも支障を来している。 なお、同院会館では、天皇后両陛下や秋篠宮同妃両殿下などが御臨席される各種授賞式、日本学士院の重要事項を決定する例会や各委員会、一般市民を対象とした公開講演会等で使用されており、それらの行事を支障なく円滑に行い、火災等の災害拡大を防ぐための措置として、早急な対応が必要となっている。								
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	(1)空調設備更新:授賞式に暖房が停止する等の故障が頻発しており、また経年劣化により空調性能が著しく低下しているため、空調設備を更新する。 (2)電気室設備更新:法定点検等で劣化などの指摘を受けている受変電設備内の各種設備の更新を行う。 (3)防災設備更新:各種防災設備(非常用発電機、非常用電灯設備、ハロゲン化物消火設備)は、経年劣化が顕著であり、法定点検等で更新・改修の指摘を受けているため、早急に更新等を行う。								
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	104		
		補正予算	-	-	-	-			
		繰越し等	-	-	-	-			
		計	-	-	-	-	104		
	執行額	-	-	-	-				
執行率(%)	-	-	-	-					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	日本学士院会館の各種設備を更新することが目標であり、定量的な数値は示せないが、本事業の実施により、学術上功績顕著な科学者を顕彰するための機関として学術の発達に寄与するという当院の目的に資するものである。		成果実績	-	0	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-		
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	老朽化している空調設備、電気室設備、防災設備の所要箇所を改修・更新する。		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-	
<b>単位当たりコスト</b>	104,045,000(円/式)		算出根拠	X:設計費6,710,000円+空調設備工事費82,671,000円+電気室設備工事費5,450,000円+非常用発電機オーバーホール費3,087,000円+非常用電灯設備工事費1,612,000円+ハロゲン化物消火設備工事費4,515,000円 Y:工事一式					
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	施設整備費	-	97百万円						
	施設施工附帯事務費	-	7百万円						
	計	-	104百万円						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・日本学士院会館は、各種授賞式、公開講演会やシンポジウム等に利用されており、本事業は施設の安全性等を確保するために必要な改修工事であり、国として実施すべき優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・整備対象となっている設備について、会員や有識者等で構成される会議を開き、工事範囲や効率的・経済的な工法等について検討を重ね、真に必要なものに限定するよう努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・日本学士院会館は、上述したような学術の発達に寄与するために必要な事業に活用されている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	今後とも関係機関との連絡調整を密に行うことにより、整備計画に基づく着実な事業の進捗を図り、工事発注に当たっては一般競争入札を行い競争性の確保に努めるなど、本事業予算を適切に執行するように努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
本事業は、定性的な内容ではあるが成果目標が立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設施工附帯事務費	設計費	6.7	施設整備費	非常用電灯設備工事費	1.6
計		7	計		2
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	空調設備工事費	82.7	施設整備費	ハロゲン化物消火設備工事費	4.5
計		83	計		5
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	電気室設備の改修費	5.5			
計		6	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
施設整備費	非常用発電機オーバーホール費	3.0			
計		3	計		0

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)